

建築学部が2025年4月に開設



建築ANNEX棟



プレゼンテーションホール



ラーニングcommons



構造実験室



材料実験室

建築学部専用の充実した学修環境

長久手キャンパスの建築ANNEX棟には、構造実験室、環境実験室などの専門施設をはじめ、学び合いの場となるラーニングcommonsや階段状のプレゼンテーションホールも整備。さらに、8号棟1階にはものづくり工房、4階・5階には製図室やCAD室、ギャラリー、建築図書室などがあり、学生の主体的な学修や研究、制作、グループワークを支えます。

総合科学である建築を横断的に学び、 社会の幅広い分野で 活躍できる人材を育成。

人間のあらゆる活動に、建築が関係しています。社会、文化、歴史、工学、自然科学など、学ぶ領域は文系・理系にとられず多様なジャンルに及びます。今年度から建築学部が開設され、「建築・まちづくり専攻」と「住居・インテリアデザイン専攻」の2専攻制を導入しましたが、それぞれつながっています。専攻の枠をこえて横断的に学修することで、インテリア、建築、まちなどさまざまなスケールの空間・環境に関する知識や視点、課題を解決する力を身につけることができます。また、建築は一人だけでつくることはできません。さまざまな人の専門性や力が必要です。4年間を通してグループワークの機会を数多く設け、社会で広く求められるコミュニケーション力

や協働する力を磨いていきます。

建築学部の原点は、1999年4月、現代社会学部に開設された都市環境デザインコースです。一級建築士や二級建築士などを数多く輩出し、卒業生は設計事務所やハウスメーカー、建設会社を中心に幅広い業界で活躍しています。学部となって学びが一層充実し、より多彩な人材が育っていくと期待しています。



建築学部長
清水 裕二 教授

25年以上の伝統や実績がある前身のコース・専攻の学びを進化させ、2025年4月に開設された、建築学部。建築学を工学的・自然科学的視点だけでなく、人文・社会を含む総合科学として捉えて、多角的な視点、幅広いスケールで人と環境の関わりを探究します。建築、インテリア、都市計画、まちづくりにおける問題解決や、より豊かで質の高い生活創生に貢献する人材を育成します。

建築学部

建築・まちづくり専攻



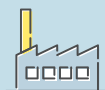
地球環境



都市



まち



一般建築



住宅

住居・インテリアデザイン専攻



インテリア



家具

特色ある授業・プロジェクト



ドットアーキテクツ展
「POLITICS OF LIVING 生きるための力学」愛知巡回展

建築展の設計・運営

3年次の「デザインワークショップ」は、空間設計をグループワークで実践する授業です。毎年、著名な建築家とコラボレーションし、建築展覧会の会場設計から施工、宣伝、会期中の運営までを学生主体で行います。



長久手丁子田の居場所づくりワークショップ

地域の居場所づくり

高齢化が進む長久手市の丁子田地区にて、地域の方々と連携して課題解決に取り組んでいます。これまでにコモンズ（人々が集うコミュニティスペース）の提案・施工、人々の交流を促す活動の企画などに挑みました。



星が丘ブンカマツリ

エリアブランディング

商業施設を運営する企業と協働し、名古屋市の星が丘のエリアブランディングに取り組んでいます。学生が主体となり、人を惹きつけるイベントや空間づくりの企画からデザイン考案、施工、運営までを担います。



ワンルームマンション
インテリアデザイン&ステージング

インテリアデザインの提案

不動産会社の協力のもと、マンションのインテリアデザインを提案。大学進学を控えた高校生がターゲットの「韓国インテリア」の案が採用され、実際にコーディネートにも携わり、モデルルームを完成させました。

建築・まちづくり専攻

建築の歴史から設計、施工、材料、構造、環境・設備、まちづくりまで幅広く学修します。地域の課題と向き合い、空き家・空き店舗の再生・活用などにも挑戦。知識・技術の修得に留まらず、実践を重視し、地域社会に貢献できる建築のプロフェッショナルを育成します。

目標とする資格

*1 インテリアプランナー、インテリアコーディネーターなどの資格取得をめざせます。

- 一級建築士 ● 二級建築士 ● 一級建築施工管理技士

住居・インテリアデザイン専攻

人間工学に基づき、住居、インテリア、家具、生活空間などをデザインする方法や理論を学びます。産学連携を数多く取り入れ、デザインや空間プランニングの実践的なスキル、クリエイティブな発想力を磨き、社会に新たな価値を提案できる人材を育成します。

目標とする資格

*2 一級建築士などの資格取得をめざせます。

- インテリアプランナー ● インテリアコーディネーター ● 福祉住環境コーディネーター ● 商業施設士 ● 二級建築士

新たな時代に求められる建築学を、理論と実践の両面から探究。

日本の建築は、建てて壊すを繰り返す時代から、改修して長く活用する時代へと動いています。建築学部では、その変化に対応したカリキュラムを編成し、理論と実践の両面から理解を深める授業を充実させています。たとえば私が専門とする建築構造では、1年次に「建築構造力学」で理論を学び、「目で見る構造力学演習」の実験や模型製作などを通して体験的に知識を補完します。さらに3年次の「建築構造実験」の中の1つとして、耐震改修工事の際に行われるコンクリート内部の調査などを経験し、より実践的な学修・研究につなげます。建築学部には多岐にわたる学問領域が広がっています。学生の皆さん、苦手意識や先入観を取り払い、さまざまな学びに触れてください。自分が知らなかった世界が見えてきて、新しい道が開かれるかもしれません。ぜひ多くのことにチャレンジし、大学生活を充実させてほしいと思います。



建築学科主任
田島 祐之 教授